

応募者	株式会社アクシス
1. 活動名	超地域密着型生活プラットフォーム「バード」による鳥取の豊かさ向上および持続可能な社会の構築
2. 表彰の対象となる活動の目的	IT とリアルとの融合により、田舎に居住していても利便性や豊かさを享受できること。 公共施設などを活用して高齢者のオンライン注文を支援、およびコミュニティを醸成すること。 鳥取の余剰野菜などをマルシェ形式で販売し、こども食堂の支援と地域の資源循環に貢献すること。
3. 表彰の対象となる活動内容	(①実施期間、②対象者・参加人数、③実施場所、④活動概要などを記載してください。) ・超地域密着型生活プラットフォーム「バード」: ネットモールの「トリスト」、フードデリバリーの「トリメシ」、調剤薬配送の「トリメディ」を核とするプラットフォーム ・Axis のやさい: 地域の余剰野菜、規格外野菜を販売し、持続可能な循環型社会を実現する ①バード: 2021年6月～、Axis のやさい: 2020年10月～(冬期を除く月2回程度開催) ②バード: 現在は鳥取市、米子市内の約20万人が商圏 Axis のやさい: ボランティア含む毎回5名以上がスタッフとして参加(現在まで社内外を含む延359人)。 ③バード: オンライン上(一部対面にて株式会社さんびるとの取り組みでさんか会館での高齢者向け体操教室ないで買い物体験を実施)。 Axis のやさい: マルシェイベントへの出店や、県内の民間企業や団体からの依頼にて出店(例)隼Lab.、鳥取空港、福祉人材研修センター、Next.ビル等 ④バード: 自社で構築したプラットフォーム上に、株式会社サンマートや浜崎酒販株式会社、有限会社フラワーショップヨシダが加盟する、生活用品を配送する「トリスト」、県内の飲食店70店舗以上が加盟するフードデリバリーサービス「トリメシ」、有限会社徳吉薬局と株式会社イヌイが加盟する、調剤薬配送サービスの「トリメディ」を運営。買い物難民や交通難民の方でも便利に生活できるサービスの構築を目指している。 Axis のやさい: 農家にて発生した規格外野菜や余剰野菜、流通ルールから外れた加工品などを取扱い、県内の農家から仕入れてイベントやマルシェ形式で販売する他、こども食堂に青果(加工品を含む)を寄付。
4. 表彰の対象となる活動の自己評価	
①モデル性	(6に記載の活動において、特に他の団体等の模範となるような工夫などについて記載してください。) バード、Axis のやさいの両サービスともに、自社のみでは実施できないため、県内の他の企業、個人に声掛けをし、多くのステークホルダーと共にサービスを運営している。自社のみでなく地域全体として取り組みを推進している。
②ネットワーク	(6に記載の活動の効果を高めるために活用した、又は新たに構築したネットワーク(個人・団体とのつながり)について記載してください。) 新サービスのため、バードは前述の企業に対して連携を依頼し実現している。トリメシの加盟店募集にあたっては県内300社以上に連絡し70店舗以上の加盟につながっている。Axis のやさいにおいても東部を中心とした農家20件以上、および鳥取地域食堂ネットワーク(子ども食堂を統括する団体)とのつながりで食材の寄付を実現している。
③包摂性	(6に記載の活動において、「誰一人取り残さない」の理念に則った取組であることや、多様性という視点が活動に盛り込まれていることなどについて記載してください。) バードは自治体との連携により、ラストワンマイルまでサービスを提供することをビジョンとして掲げている。これにより、中山間地域に居住している人々も豊かで便利な生活をおくることができると考えている。 また、Axis のやさいではこども食堂への寄付を通じて、豊かな食生活の実現に貢献している。
④統合性	(6に記載の活動において、経済・社会・環境の分野における関連課題との相互関連性・相乗効果や、統合的解決の視点について記載してください。) バードは、地方で発生している社会的課題(交通難民、買い物難民など)をITと配送によって解決することを目指している。いつまでも住み慣れた場所で生活できるよう鳥取発のサービスとして実施している。また、Axis のやさいは、見た目や形を理由に廃棄される野菜を消費者にお届けすることにより循環型社会の実現に貢献するとともに、こども食堂への寄付を通じて心身ともに豊かな社会の実現をする。
⑤継続性	(6に記載の活動において、活動を継続していくために努力している点(例: 財源の確保など)、及び今後の計画について記載してください。) バードは収益力を高めるために、鳥取市内に加えて米子市内をサービスエリアに追加。商圏エリアを拡大すると共にバード利用の前提となる会員登録者数の増加に注力している。売上の拡大および配送の効率化により市内中心部のビジネスを成立させるとともに、郡部などは自治体と連携したサービスの提供を目指している。また、Axis のやさいは、社内外のボランティアを募り開催を実施している。2020年10月からスタートし現在まで通算43回を実施し、毎回5名以上のボランティアが運営に参加、地域に人のつながりを構築している。
その他、6に記載の活動又は運営主体の特徴、取組のPR等を記載してください。 「スマートシティ創造企業」を掲げ、企業基盤となる経営のDX化や再生可能エネルギー、ファシリティネットワーク、地域課題の解決を目指すIT×リアルを融合したプラットフォームサービス事業を展開。創業より地域貢献に力を入れており、地域に特化した人材事業、小学生向けのITスクール事業等にも取り組んでいる。	